

健康管理としつけ

突然の災害は人にも動物にも大きなストレスがかかります。さらに、慣れない避難所で、大勢の人や見知らぬ動物と一緒に生活では体調を崩しがちです。普段から、健康状態に注意し、ブラッシングで抜け毛をとるなど動物の体を清潔に保ち、予防接種やノミなどの外部寄生虫の駆除をしっかりと行いましょう。

避難所で迷惑にならないように、むやみに吠えない、キャリーバッグやケージに慣らしておく、他人に友好的に接することができるなどのしつけを普段からしておきましょう。これは周りの人のためでもあり同時に、動物のストレスを少なくすることにつながります。

犬の場合

- 「待て」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけ
- ケージの中に入ることを嫌がらない
- 不必要に吠えない
- 人を怖がったり攻撃的にならない
- 決められた場所での排泄
- 狂犬病予防接種と各種ワクチン接種
- 犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除



猫の場合

- ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらない
- 人やほかの動物を怖がらない
- 猫用トイレでの排泄
- 各種ワクチン接種
- 寄生虫の予防、駆除



ケージに慣らす方法

ケージの中でもおとなしく落ち着いていられるように普段から慣らしておきましょう。避難所など慣れない環境でも、慣れ親しんだ困われた場所があることは、動物の心を落ち着けるとともに、飼い主にとっても動物を管理しやすくなります。日常生活でも留守番や来客の際、車での移動時などに役立ちます。

- 普段から休めるスペースとして開放しておく
- 中でリラックスしているのを見つけたらほめる
- 中でおやつやフードを与えるなど良い印象をもたせる
- 動物病院に行く手段や閉じ込められる場所など、悪い印象に結びつかないようにする



- 動物が寝そべることができて、広すぎず、狭すぎない大きさ
- 柔らかい素材のものよりも、硬い材質の方が安全度は高い
- 初めての場所でも慣れた居場所なのでストレスが少ない
- 安心できる場所にしておけば、災害の際に動物が避難することもある